

ふ れ あ い

題 字 辰巳 静 兄

第103号

発行日 平成27年1月吉日

発行人 大田 和人

東大阪養護老人ホーム 編集委員会

東大阪市新上小阪11-2

東大阪養護老人ホーム 06-6726-3031

E-MAIL hoy@ace.ocn.ne.jp

http://www.osj.or.jp/higashiosaka/

当ホームは、昨年の12月に上六万寺町から移転し約1年が経ちました。あつという間に過ぎた1年は、大きな事故や感染症などもなく平穏に時間が流れ、ご利用者さんは新しい施設や個室、そして新上小阪地区での生活にもすっかり慣れたように感じます。

地域での交流では、もちつき大会、地域清掃、観桜会、盆踊り大会、秋祭り、ふれあい祭りなどの他、地域交流室で営業しています喫茶や日曜日の映画会などを通して、少しずつではありますが地域に馴染み、受け入れていただけたように思います。

また新しく始めた事業ですが、通所介護サービスは11月より定員を5名増やし、地域の方々にもご利用していただける体制にいた

新年のご挨拶

東大阪養護老人ホーム
所長 大田 和人

しました。あと居宅介護事業、訪問介護事業については自治会役員の方々や地域の事業所のご協力をいただきながらも、まだまだ受け入れに余裕がある状態です。そして、診療所は瓜生堂でクリニックを開業されています原聡先生をお迎えし、大変丁寧な診察の為、多くのご利用者さんが訪れるようになっていきます。

今後はより一層地域の皆様に貢献できるよう、地域の関係団体や近隣の学校等とも交流を図り各種講演会・研修会などを開催したり、各サービス事業所とも連携を深めていきたいと思えます。これからも当ホームの運営に際しましては温かいご理解、ご支援をよろしくお願いいたします。

平成26年11月1日より大垣 芳美様が新たに
東大阪養護老人ホーム第三者委員となっていますので、
お知らせ致します。おお がき よし み
大垣 芳美 様

明けましておめでとうございます。このたび第三者委員となりました大垣芳美です。貴施設にはじめて寄せていただいたのは去年の「敬老祝賀会」の時でした。笑い、喜びとともに利用者や職員の方々の明るい顔に心を和ませていただきました。日頃はハイキングや朗読ボランティアを楽しんでおられますが、昔の上司であった竹沢さんに教えていただき、皆さんと一緒に楽しみながらお役にたてればと思っています。よろしくお願いいたします。

韓国学生施設見学会 12/17

韓国から、学生さんや学校関係者を含め総勢36名の方々が施設見学に来られました。日本の福祉や養護老人ホームについて学びたいという熱い思いに対して少しはお手伝いできたかと思えます。



デイサービスセンター「ふれあい」 主任生活相談員 藤田 浩美

デイサービスも開始から、早いもので一年がたちました。今年の11月からは定員も5名増え、15名になりました。にぎやかに楽しく過ごされています。今、デイサービスでは季節に合わせた壁絵の作成をしています。12月は、皆様でリースを作って頂きそのリースでクリスマスツリーを作ってみました。又、手作りおやつも予定しており、今月はシュークリームにホイップクリームとフルーツで楽しいケーキを作る予定です。これからも、色々な企画を考えていきますのでよろしくお願いします。

東大阪養護老人ホーム
ヘルパーステーション「ふれあい」

サービス提供責任者 吉開 美由紀

新年明けましておめでとうございます。新上小阪へ引っ越しして1年が経ちました。今を迎えられるのも、地域の皆様のおかげです。

ヘルパーステーション「ふれあい」では、「安心・安全」をモットーとして日々努力をさせていただいています。心温まるサービスでこれからも、伝え続けていけたらと思っています。地域の方々へよりそう想いをもち、地域の方々につながる心で接する「ふれあい」を今年も宜しくお願い致します。

ケアプランセンター「ふれあい」

ケアマネジャー 藤薮 一世

明けましておめでとうございます。

新参の私たちに対し、昨年中は何かとお世話になり、皆様方には感謝し尽くせぬ思いですが、本年も引き続きご指導頂けますよう宜しくお願い申し上げます。私たち「ふれあい」の目標は、介護のよろず相談所です。毎月1回、第3日曜日に介護相談日を設けています。相談事やお聞きになりたい事がありましたら、いつでもお気軽に何なりとお問い合わせください。また来る2月18日(水)には、ヴェルディ八戸の里様との共催で、認知症サポーター養成講座を開催する予定です。地域の皆様方にも認知症についての御理解を深めて頂ければ幸いです。

今後も地域への貢献を使命と考え、元気に頑張っていきますので、引き続きご声援くださいませ(＾O＾)／

生活相談員 後藤 彰

苦情解決等に関する取り組みについて

ご意見、苦情に対して真摯に受け止め、迅速な対応への取り組みを心がけています。
今回の内容は下記の通りです。

苦情内容

朝食時に利用者様が持ち込んだパンを職員が焼いて席まで持っていく事について、その利用者だけ特別扱いしているように感じる。改めてほしい。

今後の対応

今後はトースターを職員が準備をして使用したい方はご自身で使用していただく対応でご了承いただきました。

編集後記

介護主任 庄野 剛史

新年明けましておめでとうございます。さて、今回の広報誌では行事や事業の紹介の他に、「そもそも養護老人ホームってどんな所？」という、よくある質問をQ&Aコーナーにて紹介しています。これで少しでも養護老人ホームの事を知って頂ければ幸いです。今年も何卒よろしくお願い申し上げます。

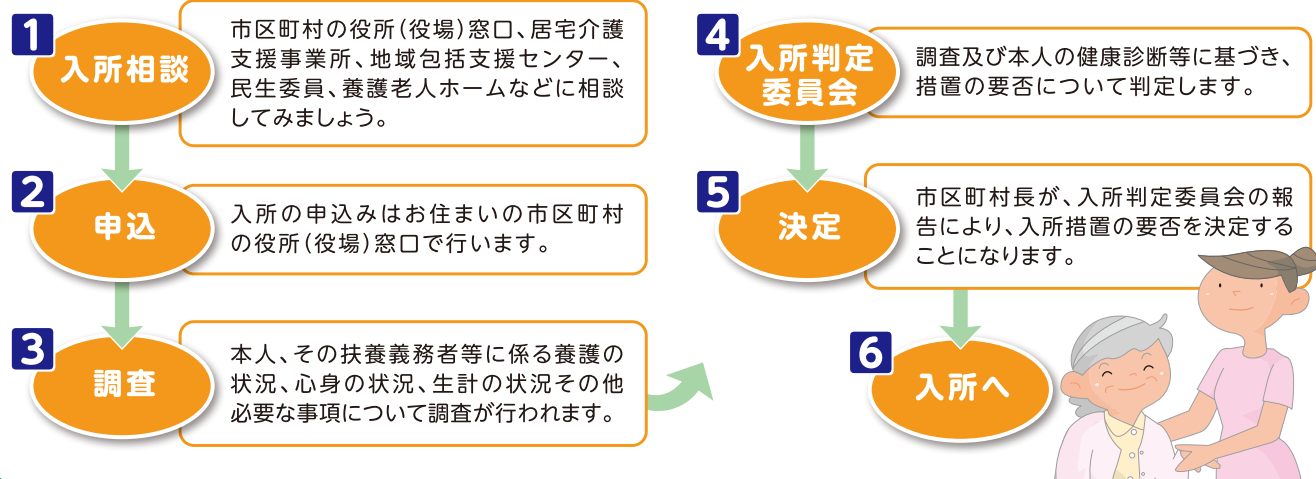
日頃、地域の皆様より、養護老人ホームとはどのような施設なのか
ご質問をいただいておりますので、その一部をご紹介します。

養護老人ホームってどんなところ？

養護老人ホームは、現在置かれている状況では、環境面・経済面・心身状態などで
生活が難しい65歳以上の高齢者が市区町村長の措置によって入所できる施設です。

特別養護老人ホームは施設と利用者の契約によりますが、養護老人ホームへの入所
については市区町村長の決定が必要です。

入所の基本的な流れ



Q & A

Q. 費用はどれくらいかかるの？

A. 所得によって費用は変わります。おおよそ受給されている年金の半分程度です。無年金の方は費用はかかりません。

Q. 入所するにはどうしたらいいの？

A. 入居希望者と養護老人ホームとの直接契約での入所ではなく、お住まいの福祉事務所から措置されて入所する流れになります。まずは福祉事務所でご相談下さい。

Q. 申込をしてからすぐに入所できるの？

A. 定員に空きが出れば申込のあった順番で入所して頂きますが、緊急性のある方などがいらっしゃる場合は多少前後することもあります。

Q. 終身見てもらえないの？

A. 原則として要介護度 3 以上にれば、ご本人の状態に合わせて介護老人福祉施設などへ入所のサポートをさせていただきます。

Q. 外出外泊は自由にできるの？

A. 自由にして頂けます。ご本人一人での外出が難しい(道に迷われる、転倒の危険性がある等)と施設が判断した場合は家族様の付き添いをお願いしています。

Q. 特別養護老人ホームとどう違うの？

A. 養護老人ホームは自立支援です。身の回りの事はできる限りご自身でいただき、将来の自立に向けてのサポートをさせていただきます。



ました。点灯の瞬間皆様の表情が光輝き、寒さを忘れたかのような満面の笑顔になりました。警備やボランティアの方々の対応がよく、安心して見学ができました。また来年も見たいと皆様話をされていました。



参加された方から六名の方が寒さの中

ルミナリエ

12/2

生活相談員

新保 房子

ふれあい祭り

10/25

介護職員

山本 麻友美



新上小阪へ移転後初めてとなるふれあい祭りを開催致しました。数多くの地域の方々に来所頂き、当施設とのふれあいの場を持つ事ができ、大いに盛り上がりのある行事となりました。今後とも当施設も地域の一員として、地域の方々と多くの交流を持てるような行事を企画させていただきます。

断酒会表彰式

12/10

生活相談員

徳森 祐貴

毎月、お世話になっている東大阪断酒会、医療機関のケースワーカーの方々に参加頂き、年に一度の断酒表彰式を行いました。今後もホーム断酒会を通して、断酒の継続をしながら、いつまでもお元気に過ごして頂けるお手伝いをさせていただきます。また、職員もアルコール依存症について断酒会参加者の皆さんと一緒に学ばせて頂きたいと思っております。



おもにつき&クリスマス会

介護職員

横川 浩一

12月21日の日曜日、昨年に続き上小阪の地域の方主催のおもちつき大会に参加させていただきました。へっぴり腰で役に立てたのかは心配ですが、お土産までいただき、ありがとうございました。



12月25日は施設にてクリスマス会を開催致しました。今年は枚岡教会の皆さまによるハンドベル演奏、手話を交えながらの歌等を披露して下さい、クリスマスの日を彩して下さいました。

